



# アクティブメニュー ユーザーズマニュアル

このマニュアルは、アクティブメニューの操作について記載します。

#### **ご注意**

- このソフトウェアおよびマニュアルの、一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
- このマニュアルの著作権はカシオ計算機株式会社に帰属します。
- 本書中に含まれている画面表示は、実際の画面とは若干異なる場合があります。予めご了承ください。

© 2011 カシオ計算機株式会社

Microsoft, MS, ActiveSync, Active Desktop, Outlook, Windows, Windows NT, および Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Microsoft 社の製品は、OEM 各社に、Microsoft Corporation の 100%出資子会社である Microsoft Licensing, Inc.によりライセンス供与されています。



本書は、アクティブメニューについて記載する。

※ 本文中の記載について

特に注釈のない限り、ハードウェアおよびプラットフォームを以下のとおり記載する。

Windows	Windows XP SP3, Windows Server 2003, Windows Vista, Windows7, WindowsServer2008R2
PC	上記 Windows OS を搭載した IBM/PC AT 互換 PC
Windows CE	Windows CE 6.0
Windows Mobile	Windows Mobile 6.5 / 6.5.3
端末	CE/WM 端末の総称

端末アプリケーション	端末で動作する業務アプリケーション
PC アプリケーション	PC で動作する業務アプリケーション

# 目次

1.	概要	1
1.1	目的	1
1.2	動作環境とソフトウェア構成	1
1.3	位置付け	2
1.4	提供機能一覧	3
1.5	起動から運用まで	4
2.	ウィンドウ構成と機能について	5
2.1	背景ウィンドウ	5
2.1.1	画面について	5
2.1.2	ファイル構成について	6
2.1.3	提供機能について	7
2.1.4	背景を変更するには	7
2.2	メニューウィンドウ	9
2.2.1	ファイル構成について	9
2.2.2	画面および操作方法について	10
2.2.3	提供機能について	10
2.2.4	色や画像を変更するには	11
3.	メニュー構成について	12
3.1	システムメニューの構成と起動アプリケーション	12
3.2	メニュー定義ファイルフォーマットについて	13
3.2.1	グローバル項目設定内容	13
3.2.2	各メニュー項目設定内容	13
3.2.3	起動／選択できるメニューを制限するには	16
3.2.4	OS のカルチャ設定に従ってメニュー内容を変更するには	17
4.	業務ローダーを利用する	18
4.1	エイリアス辞書連携とは	18
4.1.1	ファイル構成について	18
4.1.2	エイリアス辞書ファイルフォーマットについて	18
4.1.3	予約語について	19
4.1.4	エイリアス辞書を編集するには	19
4.2	業務ローダーとは	20
4.2.1	ファイル構成について	20
4.2.2	JobLoader 起動引数について	20
4.2.3	業務定義ファイルフォーマットについて	20
4.2.4	JobLoader 利用例	21
5.	端末パスワードを利用する	22
5.1	端末パスワードとは	22
5.2	端末パスワードを設定する	22
6.	無線 LAN 接続待機を利用する	23
6.1	無線 LAN 接続待機とは	23
6.2	待機時間を変更する	23
6.3	画面および操作方法について	24
6.4	OS のカルチャ設定に従ってメッセージを変更するには	24
7.	擬似 OFF モードを利用する	25

7.1	擬似 OFF モードとは	25
7.2	機能を有効にするには	25
8.	自動リセットを利用する	26
8.1	自動リセットとは	26
8.2	機能を有効にするには	26
8.3	画面について	27
8.4	OS のカルチャ設定に従ってメッセージを変更するには	27
9.	モジュール更新機能を利用する	28
9.1	モジュール更新機能とは	28
9.2	機能を有効にするには	28
9.3	画面について	29
9.4	OS のカルチャ設定に従ってメッセージを変更するには	29

# 1. 概要

## 1.1 目的

携帯端末の高解像度化／高 DPI 化が急速に進んでいるため、スタイラスや指といったポインティング方式では、その操作性が著しく低下してしまいます。また、Microsoft Windows Mobile では、デスクトップ上にシステム設定用のアイコンが直接配置されているため、誤って起動&設定してしまうことがあります。このため、デスクトップを隠蔽し、また、静電容量タッチパネルでも確実に操作・選択可能なメニューシステムを提供することで、Microsoft Windows Mobile を搭載した端末を業務用端末として提供することを目的とします。

以後、本システムの名称を「アクティブメニューシステム」と称します。

## 1.2 動作環境とソフトウェア構成

本システムの動作環境について以下に記します。

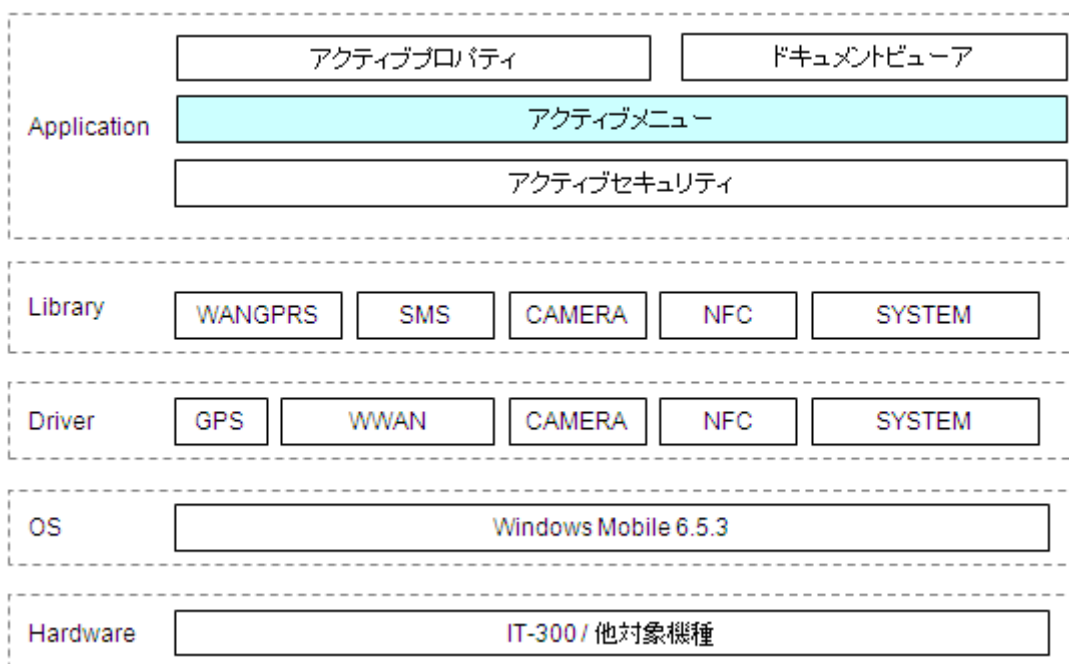
項目	内容
ハードウェア	IT-300
OS	Windows Mobile 6.5.3
対応ロケール	OS のカルチャ設定に依存
必須ソフトウェア	.NETCompactframework 2.0 および .NETConmactframework 3.5

本システムを構成するソフトウェアを以下に記します。

番号	ソフトウェア	概要説明
1	背景デスクトップ	Windows Mobile のデスクトップを隠蔽すると同時に、システム状態の監視、制御、状況の報告を行います。
2	アクティブメニュー	ジェスチャスクロール可能な階層型メニューを提供し、定義に従ってアプリケーションの起動を行います。 業務用メニューとシステムメニューを提供します。
3	JobLoader	エイリアス文字として登録した内容に従って、アプリケーションの起動を行います。 アプリケーション起動時の引数や環境変数など、環境により異なる内容をエイリアス文字として登録することで、アクティブメニューシステムをより汎用的に設定・運用することを可能にします。

### 1.3 位置付け

本システムを構成するソフトウェアの位置付けを以下に記します。





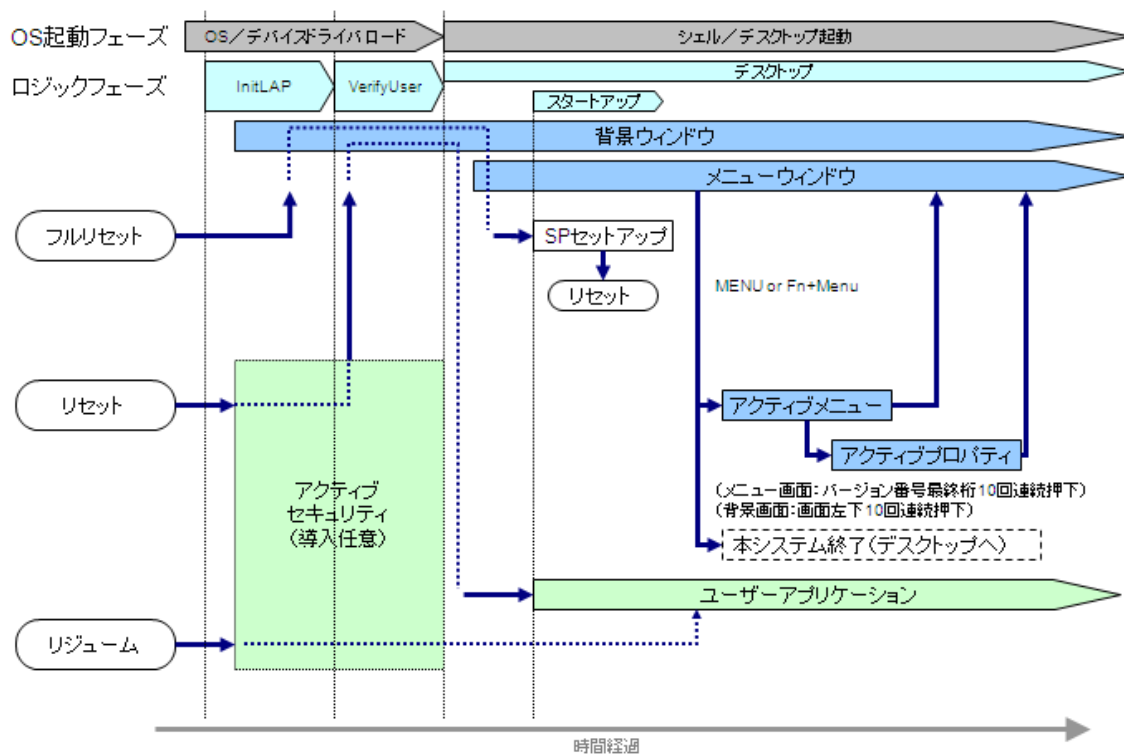
## 1.4 提供機能一覧

本システムが提供する主な機能の一覧を以下に記します。

番号	機能	説明
1	デスクトップ隠蔽	Windows Mobile のデスクトップを隠蔽し、誤操作によるシステムの改変を防止します。
2	階層型アプリケーションランチャー	1階層 9項目最大 5階層を表現可能なメニューにより、アプリケーションを分類別に配置可能とします。
3	ジェスチャースクロール	1画面では表示しきれないメニュー項目がある場合、ジェスチャー(パン・フリック)によるスムーズなスクロールを可能とします。
4	テンキーダイレクト選択	テンキーにより、メニュー項目をダイレクトに選択することで、画面操作を必要としないメニュー選択を可能とします。 設定方法および詳細機能については「2.2.3 提供機能について」を参照してください。
5	メニュー呼び出し	MENU キーを押下することで業務メニューを、Fn+MENU キーを押下することでシステムメニューを表示します。 ※メニューを呼び出した場合は、そのメニューのトップ階層を表示します。
6	エイリアス文字	アプリケーション起動時の引数や環境変数など、環境により異なる内容をエイリアス文字として登録し、メニュー定義内で利用可能とします。
7	アクティブセキュリティ連携(ユーザー名)	アクティブセキュリティを利用している場合、背景ウィンドウ上に現在ログインしているユーザー名を表示します。
8	アクティブセキュリティ連携(メニュー実行)	アクティブセキュリティを利用している場合、特定の項目・階層のみ、アドミニストレータ権限でのみ実行・移動可能とします。
9	端末パスワード認証	端末パスワードが設定されている場合は、システムメニューを表示する際にパスワード入力が必要となります。 設定方法および詳細機能については「5. 端末パスワードを利用する」を参照してください。
10	無線 LAN 接続待機	コールドブート(リセット後の起動等)や電源 ON(リジュームからの復帰)時に、無線 LAN が READY 状態にあるまで、ユーザー操作を防止します。 スタートアップ起動や他因子からのアプリケーション起動等、アプリケーションの起動に関する制御は行いません。 本機能はデフォルトで無効となっています。運用にあわせて設定してください。設定方法および詳細機能については「6. 無線LAN接続待機を利用する」を参照してください。
11	擬似 OFF	電源ボタンの押下を検出し、擬似 OFF モードへ移行します。 本機能はデフォルトで無効となっています。運用にあわせて設定してください。設定方法および詳細機能については「7. 擬似OFFモードを利用する」を参照してください。
12	自動リセット	その日の最初にリジュームから復帰した際、システム安定化のために再起動を行います。 本機能はデフォルトで無効となっています。運用にあわせて設定してください。設定方法および詳細機能については「8. 自動リセットを利用する」を参照してください。
13	モジュール更新連携	モジュール更新機能の実行を行います。 機能はデフォルトで無効となっています。運用にあわせて設定してください。 設定方法および詳細機能については「9. モジュール更新機能を利用する」を参照してください。

## 1.5 起動から運用まで

OS 起動から、アクティブメニューシステムが起動するまでの工程を以下に記します。



デフォルト状態では本システムは実行されていません。各端末のソフトウェアマニュアルに従ってシステム切り替えツールを起動し、「CASIO Desktop Mode」を選択してください。

本システム終了操作を行った場合、Windows ボタン押下と同じ操作を行うには Fn+MENU を押下してください。

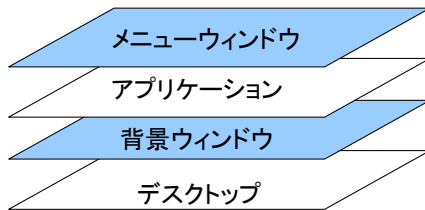
### 【アクティブメニュー環境下で動作するアプリケーションについての注意事項】

アクティブメニューシステムでは、アクティブメニューがアクティブとなる際に本体のキーマップを変更し、デアクティブ(アクティブを失う)となる際にキーマップを初期値に戻しています。

アクティブメニューシステム環境下で動作するアプリケーションは、上記と同様の処理を加える必要があります。

## 2. ウィンドウ構成と機能について

アクティブメニューシステムは背景ウィンドウとメニューウィンドウの2つのウィンドウから構成されます。



### 2.1 背景ウィンドウ

Initlap(「1.5. 起動から運用まで」参照)から起動し、スタートメニューやデスクトップを隠蔽することで、ユーザー誤操作によるシステム改変やデータ漏洩を防止することを目的とします。

#### 2.1.1 画面について

以下に初期状態での背景画面を記します。



画面のカスタマイズ方法については「2.1.4 背景を変更するには」を参照してください。

## 2.1.2 ファイル構成について

背景ウィンドウは以下のファイルにより提供されます。

No.	ファイル名	画種*(Size/Bit)	パス (¥Program Files¥CASIO 以下)	説明
1	ActiveBackWall.exe	-	¥ActiveMenu	実行ファイル
2	BackWall.png	1D (480x605/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	背景画像
3	Btn_cancel.png	5D (48x600/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	キャンセルボタン画像
4	Indicator64.gif	12D (64x768/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	実行中アニメーション画像
5	Waitnet.png	1D (136x448/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ネットワーク待機メッセージ画像
6	Waitssystem.png	1D (136x448/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	システム起動待機メッセージ画像
7	Waitmenu.png	1D (136x448/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	メニューシステム起動待機メッセージ画像
8	Waittask.png	1D (136x448/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	タスクマネージャ起動待機メッセージ画像
9	Onedayreset.png	1D (136x448/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	日過ぎ実行メッセージ画像
10	Waitmouupdate.png	1D (136x448/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	モジュール更新待機画像
11	Option.ini	-	¥ActiveMenu¥env¥ini	設定定義ファイル

※画像ファイルのフォーマット情報です。詳細については「2.2.4．色や画像を変更するには」を参照してください。

※QVGA 画面では¥ActiveMenu¥env¥bmp¥VGA は¥ActiveMenu¥env¥bmp¥QVGA となり、また、各画像ファイルは縦横ともに半分となります。

## 2.1.3 提供機能について

背景ウィンドウで提供する機能を以下に記します。

No.	機能	内容
1	最背面表示	常に最背面に位置することで、他アプリケーションのオペレーティングを妨げることはありません。 ※Windows Mobile では、アプリケーションの終了は最小化処理としているため、背景ウィンドウが表示されていても他のアプリケーションが動作していることがあります。この場合、該当するアプリケーションをメニューから再度起動することで操作可能となります。
2	状態表示	以下の内容をシステムの状態に合わせてリアルタイムに表示します。 ・システム起動フェーズ ・ネットワーク待機残り時間(ネットワーク待機機能利用時)  ※具体的な画面表示内容については「6.3. 画面および操作方法について」および「8.3. 画面について」を参照してください。
3	タスクバープルダウンメニュー抑止	画面上部のタスクバーをクリックすることでプルダウンメニューを表示する Windows Mobile 6.5.3 の機能を抑止します。
4	無線 LAN 接続待機	「6. 無線LAN接続待機を利用する」を参照してください。
5	擬似 OFF	「7. 擬似OFFモードを利用する」を参照してください。
6	自動リセット	「8. 自動リセットを利用する」を参照してください。

## 2.1.4 背景を変更するには

背景画像を変更するには「2.1.2 . ファイル構成について」で定義しているBackWall.pngを、変更したい画像に置き換えてください。

また、以下の定義ファイル内設定を変更することで、背景上に表示する内容を変更することが可能です。設定は再起動後から有効となります。

定義ファイル

項目	内容
ファイル形式	ShiftJIS INI 形式テキストファイル
ファイルパス	¥Program Files¥CASIO¥ActiveMenu¥ENV¥INI¥Option.ini

キー一覧

No	セクション	キー	意味	値
1	Version	VER	バージョン情報	"1.00" 固定
2	Option	DisplayTime	時刻表示有効/無効	0:表示しない 1:表示する
		DisplayTimeColor	時刻表示文字色	16進数 RGB 値
		DisplayTimeFont	時刻表示フォント名	フォント名文字列
		DisplayTimeSize	時刻表示フォントサイズ	フォントポイント
		DisplayTimeY	時刻表示位置	Y 軸座標 ※X 軸はセンタリングを行います。
		DisplayDate	日付表示有効/無効	0:表示しない 1:表示する
		DisplayDateColor	日付表示文字色	16進数 RGB 値
		DisplayDateFont	日付表示フォント名	フォント名文字列
		DisplayDateSize	日付表示フォントサイズ	フォントポイント
		DisplayDateY	日付表示位置	Y 軸座標 ※X 軸はセンタリングを行います。
		DisplayUserName	ユーザー名表示有効/無効	0:表示しない 1:表示する

		DisplayUserNameColor	ユーザー名表示文字色	16進数 RGB 値
		DisplayUserNameFont	ユーザー名表示フォント名	フォント名文字列
		DisplayUserNameSize	ユーザー名表示フォントサイズ	フォントポイント
		DisplayUserNameY	ユーザー名表示位置	Y 軸座標 ※X 軸はセンタリングを行います。
		ActionString	アナウンス文字	アナウンス文字を表示しない場合は空白にしてください。
		ActionStringColor	アナウンス表示文字色	16進数 RGB 値
		ActionStringFont	アナウンス表示フォント名	フォント名文字列
		ActionStringSize	アナウンス表示フォントサイズ	フォントポイント
		ActionStringY	アナウンス表示位置	Y 軸座標 ※X 軸はセンタリングを行います。
		ActionStringBlink	アナウンス点滅間隔	点滅間隔を ms 単位で設定します。 常に表示する場合は 0 を設定します。

## 2.2 メニューウィンドウ

### 2.2.1 ファイル構成について

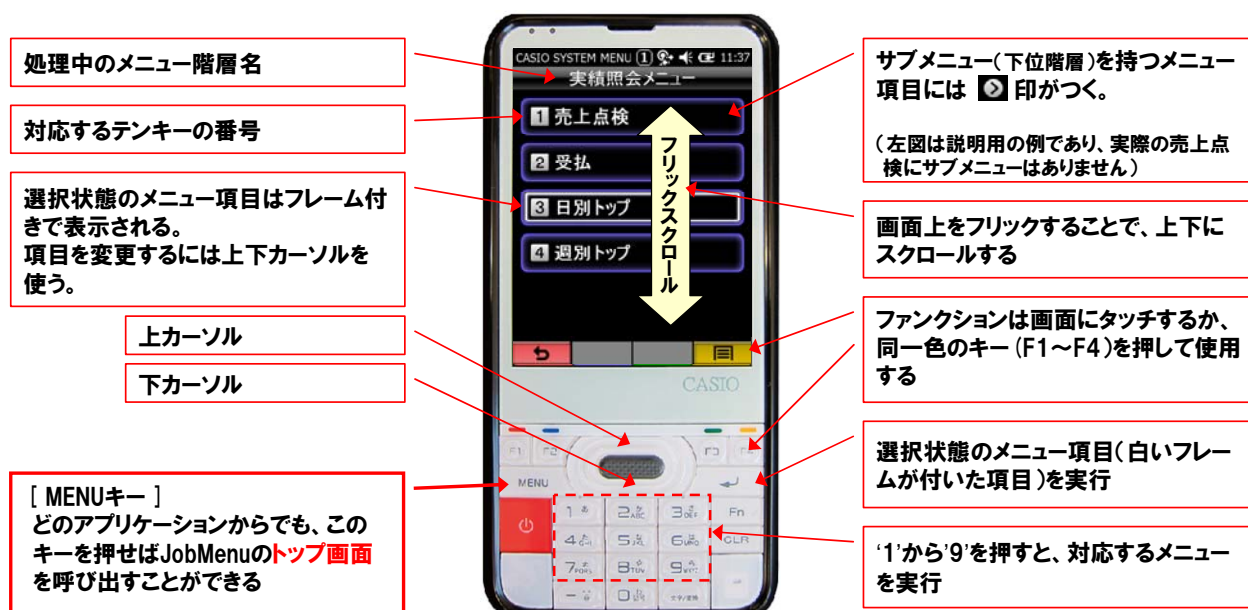
メニューウィンドウは以下のファイルにより提供されます。

No.	ファイル名	画種*(Size/Bit)	パス (¥Program Files¥CASIO 以下)	説明
1	ActiveMenu.exe	-	¥ActiveMenu	実行ファイル
2	Area_menu.png	5S (5x5/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	メニュー背景画像
3	Area_title.png	5S (48x5/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	タイトル背景画像
4	Btn_f1.png	5D (48x600/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	F1 ボタン画像
5	Btn_f2.png	5D (48x600/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	F2 ボタン画像
6	Btn_f3.png	5D (48x600/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	F3 ボタン画像
7	Btn_f4.png	5D (48x600/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	F4 ボタン画像
8	BtnDirIcon.png	5D (32x160/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	フォルダ画像
9	BtnNum01.png	5D (36x180/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン番号 1 画像
10	BtnNum02.png	5D (36x180/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン番号 2 画像
11	BtnNum03.png	5D (36x180/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン番号 3 画像
12	BtnNum04.png	5D (36x180/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン番号 4 画像
13	BtnNum05.png	5D (36x180/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン番号 5 画像
14	BtnNum06.png	5D (36x180/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン番号 6 画像
15	BtnNum07.png	5D (36x180/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン番号 7 画像
16	BtnNum08.png	5D (36x180/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン番号 8 画像
17	BtnNum09.png	5D (36x180/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン番号 9 画像
18	menu_blue.png	5D (76x2240/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン画像(青)
19	menu_lightblue.png	5D (76x2240/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン画像(水)
20	menu_lightgray.png	5D (76x2240/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン画像(灰)
21	menu_magenta.png	5D (76x2240/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン画像(マゼンダ)
22	menu_orange.png	5D (76x2240/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン画像(オレンジ)
23	menu_red.png	5D (76x2240/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン画像(赤)
24	menu_yellow.png	5D (76x2240/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	ボタン画像(黄)
25	ScrollBar.png	1D (8x6/24bit)	¥ActiveMenu¥env¥bmp¥vga	スクロールバー画像
26	JobMenu.xml	-	¥ActiveMenu¥env¥ini	業務メニュー定義ファイル
27	SystemMenu.xml	-	¥ActiveMenu¥env¥ini	システムメニュー定義ファイル

※画像ファイルのフォーマット情報です。詳細については「2.2.4 . 色や画像を変更するには」を参照してください。

※QVGA 画面では¥ActiveMenu¥env¥bmp¥VGA は¥ActiveMenu¥env¥bmp¥QVGA となり、また、各画像ファイルは縦横ともに半分となります。

## 2.2.2 画面および操作方法について



## 2.2.3 提供機能について

システムメニューで提供する機能を以下に記します。

番号	機能	内容
1	階層メニュー	最大 1 階層 9 項目最大 5 階層
2	階層戻り	F1 キーを押下するか、画面左下の赤ボタンを押下することで、1階層戻ります。
3	トップ階層戻り	F4 キーを押下するか、画面右下の黄ボタンを押下することで、トップ階層に戻ります。
4	ボタンスクロール	F2, F3 を押下するか、画面下中央の青、緑ボタンを押下することで、それぞれ、上方、下方にスクロールします。
5	フリックスクロール	メニュー画面をフリックすることで、フリック方向にスクロールします。
6	テンキーダイレクト選択	表示しているメニュー項目番号を同じ番号のテンキーを押下することで、該当する項目を実行します。また、MENU キーを押下した後、実行したい項目のアドレス番号を入力することで該当する項目を実行することが可能です。 例： 「1. プログラム」→「3. 電卓」とメニュー操作を行う必要がある場合、MENU キーを押下し、続けて 1,3 とテンキーを押下することで電卓を起動することが可能です。 指定した番号がアプリケーションではなかった場合や、プラグインによって保護されている場合はエラーとなります。(パイプリータ 2 回)
7	システムメニュー表示	SystemMenu.xml で定義したメニュー階層を表示します。 Fn+MENU キーを押下することで呼び出します。 端末パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力を求めます。 入力されたパスワードが端末パスワードと一致した場合のみシステムメニューを表示することができます。 システムメニューを終了する場合は、CLR キーを押下してください。
8	業務メニュー表示	JobMenu.xml で定義したメニュー階層を表示します。 JobMenu.xml が存在している場合のみ、MENU キーを押下することで呼び出します。 業務メニューを終了する場合は、CLR キーを押下してください。
9	ログインユーザー名表示	ActiveSecurity 利用時、現在ログインしているユーザー名を画面上部に表示します。 現在のログインユーザー名は以下のレジストリ値を参照しています。 [HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥Casio¥ActiveSecurity] 例: "username"="Administrator"
10	アプリケーション起動	各メニュー定義で定義したアプリケーションを起動します。 二重起動やプロセスの監視等はいりません。対象となるアプリケーションおよび OS の仕様に従います。



## 2.2.4 色や画像を変更するには

「2.2.1. ファイル構成について」にある画像ファイルを他のファイルに入れ替えることで画面イメージを変更することが可能です。

ただし、上記表にある「画種」で定義しているフォーマット／サイズに従う必要があります。

### 画種「1D」とは

1つの画像のみを含んだ画像ファイルです。

### 画種「5S」とは

5つの同じ画像を横に並べた画像ファイルです。

横幅は必ず5の倍数である必要があります。

### 画種「5D」(「12D」)とは

5つ(12)の違う画像を横に並べた画像ファイルです。それぞれの画像幅はすべて等しく、また、左から順に、通常状態／選択状態／押下状態／無効状態／(予備)と並んでいる必要があります。



### 3. メニュー構成について

#### 3.1 システムメニューの構成と起動アプリケーション

システムメニューを構成する項目と階層および、それぞれの項目で起動するアプリケーションを以下に記します。

階層/項目	起動アプリケーションパス
プログラム	
Internet Explorer	¥windows¥iexplore.exe
エクスプローラ	¥windows¥fexplore.exe
FLCE	¥windows¥flce.exe
各種デモ	
レーザーสキャナ	¥Program Files¥CASIO¥DEMO¥LaserDemo.exe
ブザー・バイブレーション	¥Program Files¥CASIO¥DEMO¥BuzzerDemo.exe
画面表示	¥Program Files¥CASIO¥DEMO¥LCDDemo.exe
設定	
システム	
日付・時刻	¥windows¥ctlpnl.exe cplmain.cpl,16
地域	¥Windows¥ctlpnl.exe cplmain.cpl,18
証明書インストール	¥Windows¥cerinst.exe
一括設定	¥Program Files¥CASIO¥kitting¥ActSystem.exe
バーコード一括設定	¥windows¥SystemBarcodeSetting.exe
端末パスワード設定	¥Program Files¥CASIO¥ActiveMenu¥ PDAPasswordEditor.exe
通信	
無線 LAN	
電源設定	¥Windows¥ctlpnl.exe cfpwrcpl.cpl
接続設定	¥Windows¥ctlpnl.exe wlan.cpl
バーコード一括設定	¥windows¥wlanbarcodesetting.exe
ネットサーチ	¥Program Files¥CASIO¥System¥NetSearch.exe
USB	
USB 接続	¥Windows¥ctlpnl.exe USB_Connect.cpl
PC への USB 接続	¥Windows¥ctlpnl.exe cplmain.cpl,28
Bluetooth	¥Windows¥ctlpnl.exe cplmain.cpl,23
スキャナ	¥windows¥scannersettinglauncher.exe
エイリアス定義	¥Program Files¥CASIO¥ActiveMenu¥LocalAliasEditor.exe
保守	
バックアップツール	¥Program Files¥CASIO¥System¥CF_Backup.exe
本体間コピーツール	¥Program Files¥CASIO¥System¥HTCopyBT.exe
モジュール更新ツール	¥Windows¥mouupdate.exe -m
端末ログビューア	¥Windows¥MoLogView.exe
リモートデスクトップ	¥Windows¥wpctsc.exe
プログラムの削除	¥Windows¥ctlpnl.exe cplmain.cpl,10
ソフトウェアリセット	内部コマンド (Command = reset)
バージョン情報	¥Windows¥ChkVer.exe
タスクマネージャ	¥windows¥taskmgr.exe

## 3.2 メニュー定義ファイルフォーマットについて

SystemMenu.xml および JobMenu.xmlde のフォーマットを以下に記します。

項目	内容
ファイル形式	Unicode XML 形式
ファイルパス	「1.2. 動作環境とソフトウェア構成」参照
データセット名	MenuDataSet

### 3.2.1 グローバル項目設定内容

No	キー	定義項目	内容
1	Number	バージョン番号	"1.0"固定です。
2	ShowBtnNum	ボタン番号表示 ON/OFF	0:表示しません。 1:表示します。
3	FontID	フォント番号	タイトルで表示するフォント番号です。
4	VerFontID	バージョンフォント番号	バージョンで表示するフォント番号です。
5	FontColorID	フォントカラー番号	タイトルで表示するフォントカラー番号です。
6	TitleBkImageID	背景イメージ番号	タイトルで表示する背景番号です。
7	MenuBkImageID	背景イメージ番号	メニューで表示する背景番号です。
8	ScrollBarImageID	スクロールバーイメージ番号	スクロールバーで表示するイメージ番号です。
9	F1BkImageID	F1 ボタンイメージ番号	F1 ボタンに表示するボタンイメージ番号です。
10	F2BkImageID	F2 ボタンイメージ番号	F2 ボタンに表示するボタンイメージ番号です。
11	F3BkImageID	F3 ボタンイメージ番号	F3 ボタンに表示するボタンイメージ番号です。
12	F4BkImageID	F4 ボタンイメージ番号	F4 ボタンに表示するボタンイメージ番号です。
13	TopMenuName	トップメニュー名	トップメニュー名称です。

※上記設定はサンプル設定をそのまま使用してください。

### 3.2.2 各メニュー項目設定内容

メニュー項目は <Menu>タグで区切ります。

No	キー	定義項目	内容
1	MenuName	メニュー名	本項目が所属するメニュー名です。
2	BtnTitle	メニュー表示文字列	メニューボタンに表示する文字列です。
3	BtnImage	メニュー表示背景画像	メニューボタンに表示する背景画像です。
4	Command	メニュー動作設定	exec:ExePath に記載されたアプリケーションを実行します。 menu:ExePath に記載されたメニュー名に移動します。 blank: 項目を非表示にします。 disable: 項目を選択不可能にします。 reset: ソフトウェアリセットを行います。
5	ExePath	起動パス/サブメニュー	起動 EXE パス もしくは、移動先メニュー名です。 Command=Execの場合、エイリアス辞書に対応しています。エイリアス辞書についての詳細は「4.1. エイリアス辞書連携とは」を参照してください。
6	ExeOption	引数	起動 EXE に渡す引数です。 Command=Execの場合、エイリアス辞書に対応しています。エイリアス辞書についての詳細は「4.1. エイリアス辞書連携とは」を参照してください。
7	Plugin	メニュープラグイン	メニュー項目実行前に実行するプラグインのフルパスを指定します。 プラグインに関しては「3.2.3. 起動/選択できるメニューを制限するには」を参照してください。

## メニュー定義ファイルサンプル

```
<?xml version="1.0" standalone="yes"?>
<MenuDataSet>
  <Ver Number="1.00" ShowBtnNum="1" FontID="1" VerFontID="3" FontColorID="1"
    TitleBkImageID="1" MenuBkImageID="2" ScrollBarImageID="3" F1BkImageID="4"
    F2BkImageID="5" F3BkImageID="6" F4BkImageID="7" TopMenuName="メインメニュー" />
  <Font>
    <ID>1</ID>
    <Name>Tahoma</Name>
    <Size>140</Size>
    <Style>AB</Style>
  </Font>
  <Font>
    <ID>2</ID>
    <Name>MS UI Gothic</Name>
    <Size>140</Size>
    <Style>B</Style>
  </Font>
  <Font>
    <ID>3</ID>
    <Name>Tahoma</Name>
    <Size>60</Size>
    <Style>B</Style>
  </Font>
  <FontColor>
    <ID>1</ID>
    <R>255</R>
    <G>255</G>
    <B>255</B>
  </FontColor>
  <FontColor>
    <ID>2</ID>
    <R>0</R>
    <G>0</G>
    <B>0</B>
  </FontColor>
  <FontColor>
    <ID>3</ID>
    <R>184</R>
    <G>184</G>
    <B>184</B>
  </FontColor>
  <Image>
    <ID>1</ID>
    <Path>area_title.png</Path>
  </Image>
  <Image>
    <ID>2</ID>
    <Path>area_menu.png</Path>
  </Image>
  <Image>
    <ID>3</ID>
    <Path>scrollbar.png</Path>
  </Image>

```

```
</Image>
<Image>
  <ID>4</ID>
  <Path>btn_f1.png</Path>
</Image>
<Image>
  <ID>5</ID>
  <Path>btn_f2.png</Path>
</Image>
<Image>
  <ID>6</ID>
  <Path>btn_f3.png</Path>
</Image>
<Image>
  <ID>7</ID>
  <Path>btn_f4.png</Path>
</Image>
<Image>
  <ID>8</ID>
  <Path>menu_blue.png</Path>
</Image>
<Menu>
  <MenuName>メインメニュー</MenuName>
  <BtnTitle>在庫照会</BtnTitle>
  <FontID>2</FontID>
  <FontColorID>1</FontColorID>
  <BtnImageID>8</BtnImageID>
  <Command>menu</Command>
  <ExePath>在庫照会</ExePath>
  <ExeOption />
  <Plugin></Plugin>
</Menu>
<Menu>
  <MenuName>在庫照会</MenuName>
  <BtnTitle>在庫照会</BtnTitle>
  <FontID>2</FontID>
  <FontColorID>1</FontColorID>
  <BtnImageID>8</BtnImageID>
  <Command>exec</Command>
  <ExePath>test.exe</ExePath>
  <ExeOption />
  <Plugin />
</Menu>
</MenuDataSet>
```

### 3.2.3 起動／選択できるメニューを制限するには

現在ログインしているユーザーの権限や時間帯、カルチャ設定等により、特定のメニュー動作を抑止することができます。

以下のファイルを用意し、「3.2.2 . 各メニュー項目設定内容」のPluginにフルパスで指定してください。指定した項目を実行する際、Pluginで指定されたモジュールを実行し、戻り値が0ならば項目を実行、1ならば実行しません。

Plugin で指定したパスに対象モジュールが存在しない場合は、戻り値を 1 として処理します。

#### 【Plugin モジュール】

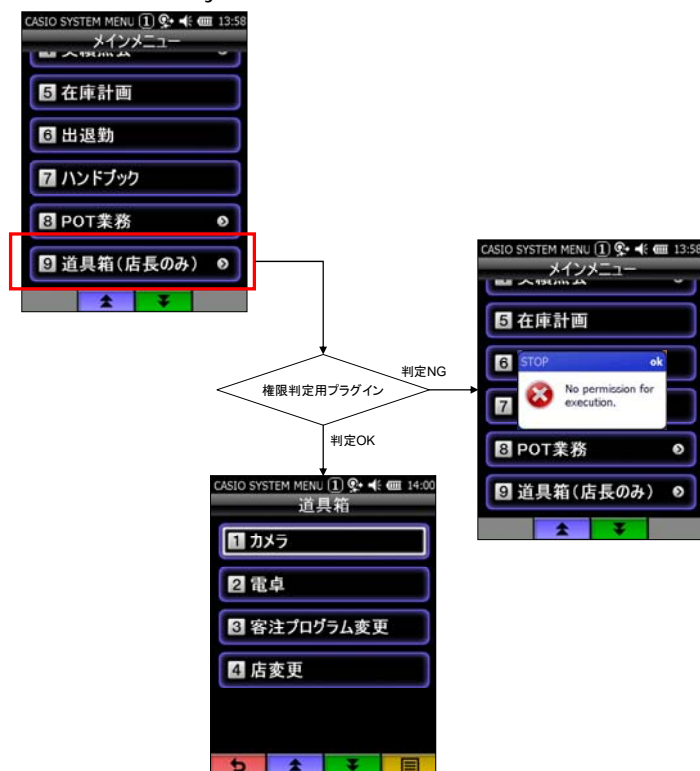
項目	内容
ファイル形式	EXE 形式
ファイルパス	任意
戻り値	0:メニュー項目を実行します。 1:メニュー項目を実行しません

初期出荷状態では、サンプルとして以下のモジュールを搭載しています。

#### 【サンプル Plugin モジュール】

項目	内容
ファイルパス	¥Program Files¥CASIO¥ActiveMenu¥Plugin¥ActiveSecurityAuthenticater.exe
戻り値	現在ログインしているユーザーが Admin 権限を有していれば 0 を、有していなければ 1 を返します。

※Active Security を利用している必要があります。



### 3.2.4 OSのカルチャ設定に従ってメニュー内容を変更するには

通常は SystemMenu.xml および JobMenu.xml を読み込みますが、同フォルダ上に以下のファイル名がある場合は、そちらを優先して読み込みます。

メニュー定義ファイル名	内容
SystemMenu.[カルチャ情報].xml	OS のカルチャ設定に従ったファイル名が存在しない場合は、SystemMenu.xml を読み込みます。  [例] 日本語にカルチャ設定された OS 上では、SystemMenu.ja-jp.xml を優先的に読み込みます。SystemMenu.ja-jp.xml が存在していない場合は SystemMenu.xml を読み込みます。
JobMenu.[カルチャ情報].xml	OS のカルチャ設定に従ったファイル名が存在しない場合は、JobMenu.xml を読み込みます。  [例] 日本語にカルチャ設定された OS 上では、JobMenu.ja-jp.xml を優先的に読み込みます。JobMenu.ja-jp.xml が存在していない場合は JobMenu.xml を読み込みます。

## 4. 業務ローダーを利用する

エイリアス辞書連携を利用したアプリケーションランチャーである業務ローダーを利用することで、汎用的なメニュー定義を行うことが可能です。

### 4.1 エイリアス辞書連携とは

アプリケーション起動時の引数や環境変数など、環境により異なる内容をエイリアス文字として登録します。メニュー項目実行内容に、上記で定義したエイリアス文字が存在した場合、登録内容に従って、エイリアス文字を定義文字に置き換えます。

#### 4.1.1 ファイル構成について

エイリアス辞書連携機能は以下のファイルにより提供されます。

No.	ファイル名	パス	説明
1	JobLoaderLocal.ini	¥Application Data¥CASIO¥ENV	ローカルエイリアス定義ファイル※1
2	JobLoaderSystem.ini	¥Application Data¥CASIO¥ENV	システムエイリアス定義ファイル※2

※1 端末の運用環境ごとに変化するエイリアスを定義します。[例]店舗固有設定等

※2 システム全体で一意に設定するエイリアスを定義します。[例]アプリケーションパス等

#### 4.1.2 エイリアス辞書ファイルフォーマットについて

形式

項目	内容
ファイル形式	Unicode INI 形式テキストファイル
ファイルパス	「1.2. 動作環境とソフトウェア構成」参照
参照順位	JobLoaderLocal.ini を参照し、定義が見つからない場合は JobLoaderSystem.ini を参照します。

キー一覧

No	セクション	キー	意味	値
1	Version	VER	バージョン情報	“1.00” 固定です。
2	Alias	[変数 ID]	指定値	[変数 ID]はメニュー定義および業務定義ファイル内で\$[変数 ID]\$として使用することができます。 変数 ID の大文字小文字の区別はしません。

フォーマットサンプル

```
[Version]
VER=1.00
[Alias]
NOTE=¥windows¥notes.exe
IE=¥windows¥explorer.exe
```



### 4.1.3 予約語について

本システムは以下の ID を予約語として標準で実装しているため、以下の文字はエイリアス辞書に登録できません。

予約語をエイリアス辞書に登録しても、その内容は無効となります。

予約語	内容
Id	現在ログインしているユーザー名です。 ※Active Security 連携時に利用可能です。
Date	現在の日付です。YYYYMMDD 形式の文字列です。
Time	現在の時刻です。24 時制 HHMMSS 形式の文字列です。
Ver	システム内部で使用します。

### 4.1.4 エイリアス辞書を編集するには

ローカルエイリアス定義ファイルを端末の運用環境に合わせて編集します。

以下の実行モジュールを起動するか、システムメニューから「エイリアス定義編集」を選択してください。

No.	ファイル名	パス (¥Program Files¥CASIO 以下)	説明
1	LocalAliasEditor.exe	¥ActiveMenu	実行モジュール



※エイリアス名は最大 100 件登録可能です。

## 4.2 業務ローダーとは

業務ローダー(JobLoader.exe)を利用することで、エイリアス辞書連携機能を有したアプリケーションランチャーを使用することが出来ます。

### 4.2.1 ファイル構成について

エイリアス辞書連携機能は以下のファイルにより提供されます。

No.	ファイル名	パス	説明
1	JobLoader.exe	¥Windows	業務ローダー実行ファイル
2	(任意).jldr	任意	業務定義ファイル:業務アプリケーション起動情報を定義します。

### 4.2.2 JobLoader起動引数について

JobLoader.exe は以下の書式で実行してください。

書式: JobLoader.exe 業務定義ファイルフルパス

正常起動した場合は、終了コード=0 を返します。  
異常が発生した場合は、終了コード=1 を返します。

※業務定義ファイルは、JobLoader.exe で実行後に削除されます。恒久的に使用する場合は、対象となる業務定義ファイルに READONLY 属性を付与してください。

### 4.2.3 業務定義ファイルフォーマットについて

項目	内容
ファイル形式	Unicode INI 形式テキストファイル
拡張子	Jldr

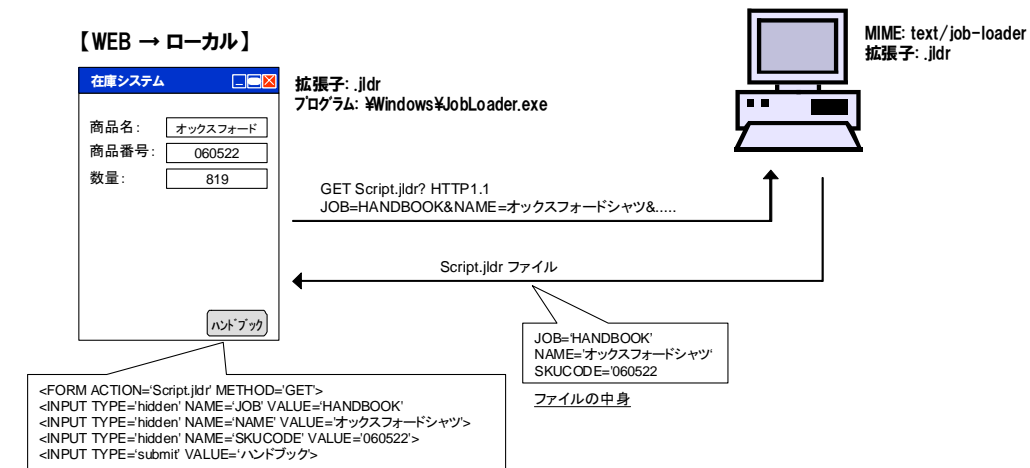
キー一覧

No	セクション	キー	意味	値
1	Version	VER	バージョン情報	"1.00" 固定です。
2	Application	EXE	プログラムパス	起動するプログラムのパスを指定します。 パス辞書に登録した変数 ID を\$で囲むことにより指定します。 例: \$ie\$
3	Application	ARGV	起動引数	プログラムの起動引数を指定します。 例: \$zaikourl\$ -id=\$id\$ storeid=\$storeid\$

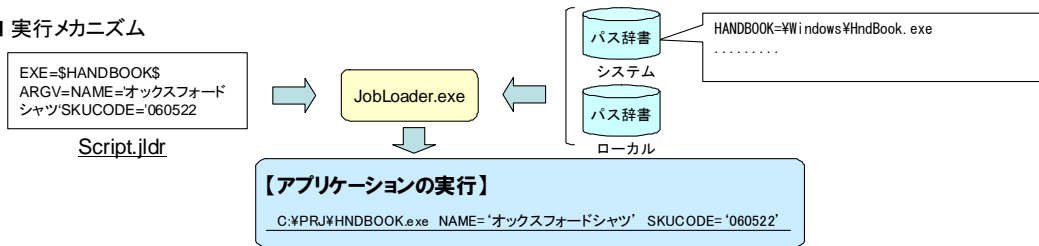
フォーマットサンプル

```
[Version]
VER=1.00
[Application]
EXE=$ie$
ARGV=$zaikourl$ -id=$id$ storeid=$storeid$
```

## 4.2.4 JobLoader利用例



### ■ 実行メカニズム

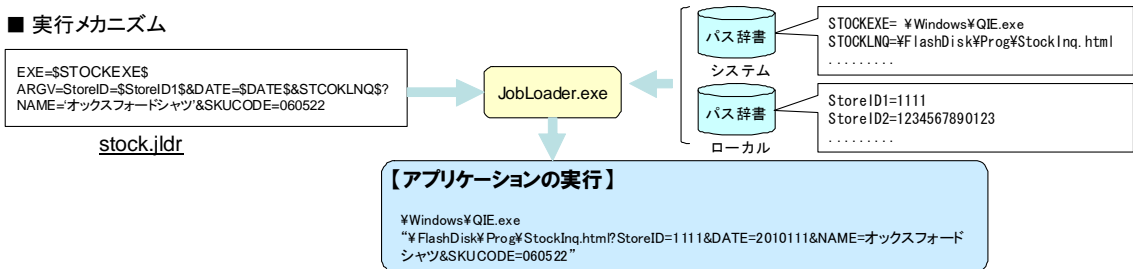


WEB アプリケーションからローカルアプリケーションを起動する

### 【ローカル → WEB】



### ■ 実行メカニズム



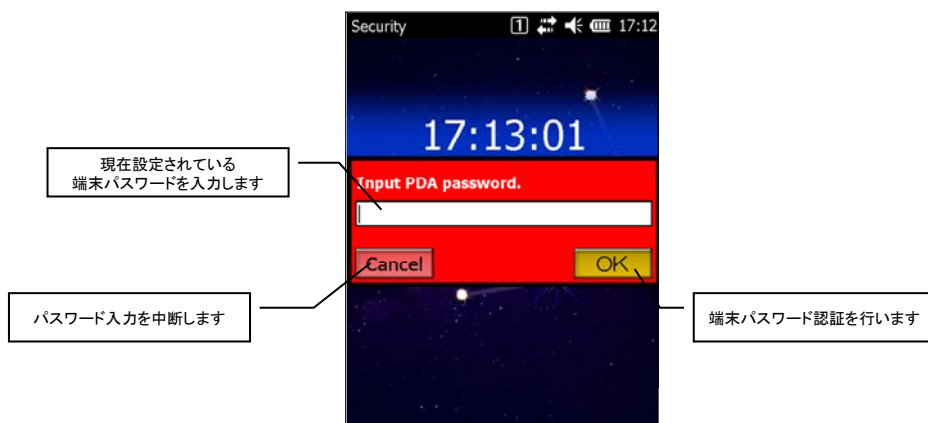
ローカルアプリケーションから WEB アプリケーションを起動する

## 5. 端末パスワードを利用する

### 5.1 端末パスワードとは

端末ごとに設定可能なパスワードであり、本体間コピーやバックアップ/リストア、フルリセット等に影響されずに永続的に有効なパスワードです。

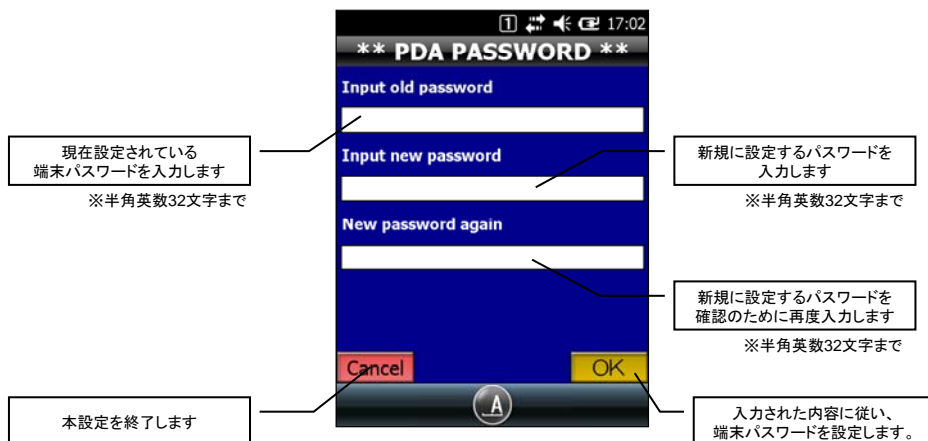
端末パスワードが設定されている場合は、システムメニューが表示される際に、パスワードの入力を求めます。入力されたパスワードが端末パスワードと一致した場合のみシステムメニューが表示されます。



※端末パスワードはアクティブセキュリティとは関連していません。

### 5.2 端末パスワードを設定する

システムメニューの「設定」→「システム」→「端末パスワード設定」を実行します。



端末パスワードをクリアする場合は、new password を空にして設定してください。

端末パスワードを忘れてしまった場合は、システムメニューを表示することはできません。また端末パスワードを再設定することも出来ません。

## 6. 無線LAN接続待機を利用する

### 6.1 無線LAN接続待機とは

コールドブート(リセット後の起動等)や電源 ON(リジュームからの復帰)時に、無線 LAN が READY 状態になるまでユーザー操作を防止します。

### 6.2 待機時間を変更する

初期状態では、待機時間を 0 秒(待機しない)としています。

以下の定義ファイル内設定を変更することで、最大待ち時間を設定することが可能です。  
最大待ち時間を経過した場合、待機状態を解除しデスクトップへ移行します。  
設定は再起動後から有効となります。

定義ファイル

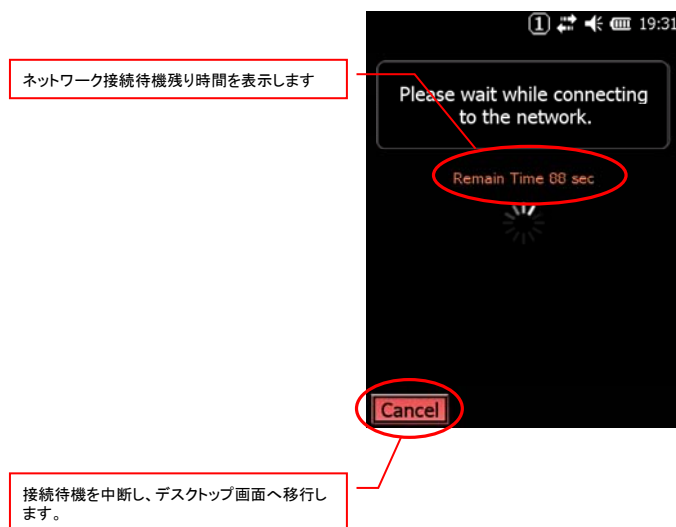
項目	内容
ファイル形式	ShiftJIS INI 形式テキストファイル
ファイルパス	¥Program Files¥CASIO¥ActiveMenu¥ENV¥INI¥Option.ini

キー一覧

No	セクション	キー	意味	値
1	Version	VER	バージョン情報	"1.00" 固定
2	Option	WAITLANCONNECTTIME	待機時間(秒)	待機する時間(秒)を設定します。 0を設定した場合は待機しません。 最大待ち時間は 300 秒です。

## 6.3 画面および操作方法について

システム起動時やサスペンド復帰時に無線 LAN が接続されるまで以下の画面を表示します。



## 6.4 OSのカルチャ設定に従ってメッセージを変更するには

「6.3. 画面および操作方法について」の画面内にある「Please wait while connecting to the network.」のメッセージ画像をOSのカルチャ設定に従って変更する場合、「2.1.2 . ファイル構成について」にあるWaitnet.pngファイルと同じ場所に、同じフォーマット/サイズで以下のファイル名の画像ファイルを配置してください。

配置ファイル名 : Waitnet.[カルチャ情報].png

[例]

日本語カルチャに設定した OS 上で、カルチャに依存した画像を表示する場合、Waitnet.ja-jp.png ファイルを Waitnet.png ファイルと同じ場所に配置します。



## 7. 擬似OFFモードを利用する

### 7.1 擬似OFFモードとは

電源ボタンの押下を検出し、以下の状態(擬似 OFF 状態)に移行します。

擬似 OFF 状態

項目	状態
タッチパネル	禁止
画面	OFF
キー動作	禁止
APO	禁止
電源 OFFF	禁止
CPU スピード	Low

詳細は基本開発キットに含まれる「システムライブラリマニュアル」を参照してください。

### 7.2 機能を有効にするには

初期状態では、擬似 OFF モードは無効としています。

以下の定義ファイル内設定を変更することで、擬似 OFF モードの設定を変更することが可能です。設定は再起動後から有効となります。

定義ファイル

項目	内容
ファイル形式	ShiftJIS INI 形式テキストファイル
ファイルパス	¥Program Files¥CASIO¥ActiveMenu¥ENV¥INI¥Option.ini

キー一覧

No	セクション	キー	意味	値
1	Version	VER	バージョン情報	"1.00" 固定
2	Option	FAKEOFFMODE	有効/無効	0:無効 1:有効

※本機能を使用する場合は、他のアプリケーションで電源の管理を行わないでください。

## 8. 自動リセットを利用する

### 8.1 自動リセットとは

指定した時刻を経過した後、最初にリジュームから復帰起動した場合、システム安定化のために再起動を行います。

### 8.2 機能を有効にするには

初期状態では、自動リセット機能は無効としています。

以下の定義ファイル内設定を変更することで、自動リセットの設定を変更することが可能です。設定は再起動後から有効となります。

定義ファイル

項目	内容
ファイル形式	ShiftJIS INI 形式テキストファイル
ファイルパス	¥Program Files¥CASIO¥ActiveMenu¥ENV¥INI¥Option.ini

キー一覧

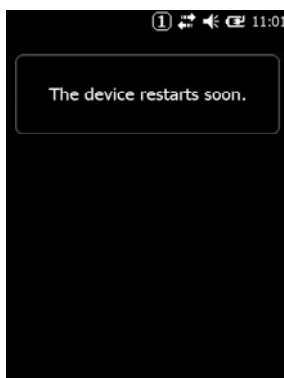
No	セクション	キー	意味	値
1	Version	VER	バージョン情報	"1.00" 固定
2	Option	ONEDAYRESET	時刻指定 (24H)	(指定なし): 自動リセット無効 hh:mm: 自動リセット有効 (時刻指定)  例: 午前 5 時に設定する場合 ONEDAYRESET=05:00  ※指定時刻に無効な文字や数値が入っていた場合は正常に動作しません。

※本機能を使用する場合は、他のアプリケーションで電源の管理を行わないでください。



## 8.3 画面について

サスペンド復帰時に以下の画面を表示し、約 5 秒後に強制的に再起動を行います。



## 8.4 OSのカルチャ設定に従ってメッセージを変更するには

「8.3. 画面について」の画面内にある「The device restarts soon.」のメッセージ画像をOSのカルチャ設定に従って変更する場合、「2.1.2 . ファイル構成について」にあるonedayreset.pngファイルと同じ場所に、同じフォーマット/サイズで以下のファイル名の画像ファイルを配置してください。

配置ファイル名 : onedayreset.[カルチャ情報].png

[例]

日本語カルチャに設定した OS 上で、カルチャに依存した画像を表示する場合、onedayreset.ja-jp.png ファイルを onedayreset.png ファイルと同じ場所に配置します。



## 9. モジュール更新機能を利用する

### 9.1 モジュール更新機能とは

本システム起動時にモジュール更新ツール(別紙「モバイルモジュール更新ツール」参照)を起動します。

### 9.2 機能を有効にするには

初期状態では、モジュール更新機能は無効としています。

以下の定義ファイル内設定を変更することで、モジュール更新機能の設定を変更することが可能です。設定は再起動後から有効となります。

定義ファイル

項目	内容
ファイル形式	ShiftJIS INI 形式テキストファイル
ファイルパス	¥Program Files¥CASIO¥ActiveMenu¥ENV¥INI¥Option.ini

キー一覧

No	セクション	キー	意味	値
1	Version	VER	バージョン情報	"1.00" 固定
2	Option	ModuleUpdate	待機時間(秒)	モジュール更新終了を待機する時間(秒)を設定します。0を設定した場合はモジュール更新を実行しません。最大待ち時間は6000秒です。 n秒以上経過した場合は、デスクトップへ移行します。

※モジュール更新定義が不足していたり誤っている場合は、処理を中止し、背景表示を行います。

※無線LANを用いてモジュール更新を行う場合は、無線LAN接続待機機能を有効にする必要があります。無線LAN接続待機機能についての詳細は「6. 無線LAN接続待機を利用する」を参照してください。

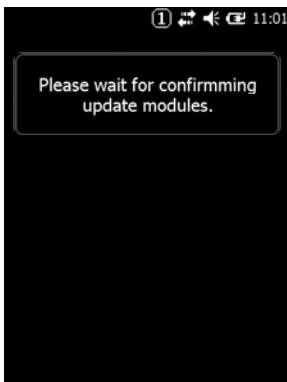
※本機能を使用する前に、モジュール更新ツールを起動し、正しく終了することを確認してください。

※本機能を使用する場合は、他のアプリケーションで電源の管理を行わないでください。

※更新不要時および動作完了時の確認ダイアログを自動的に終了すると指定したモジュール更新スペックファイルを用いてください。

## 9.3 画面について

モジュール更新が必要な場合に以下の画面を表示します。



モジュール更新が動作している間は、モジュール更新の画面表示に変わります。

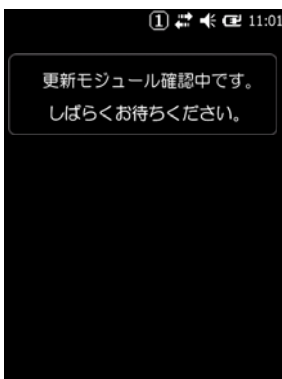
## 9.4 OSのカルチャ設定に従ってメッセージを変更するには

「9.3. 画面について」の画面内にある「Please wait for confirming update modules.」のメッセージ画像をOSのカルチャ設定に従って変更する場合、「2.1.2 . ファイル構成について」にあるwaitmouupdate.png ファイルと同じ場所に、同じフォーマット/サイズで以下のファイル名の画像ファイルを配置してください。

配置ファイル名 : waitmouupdate.[カルチャ情報].png

[例]

日本語カルチャに設定した OS 上で、カルチャに依存した画像を表示する場合、waitmouupdate.ja-jp.png ファイルを waitmouupdate.png ファイルと同じ場所に配置します。



## カシオ計算機お問い合わせ窓口

### 製品に関する最新情報

- 製品サポートサイト（カシオペア・ハンディターミナル）

<http://casio.jp/support/ht/>

### 製品の取扱い方法のお問い合わせ

- 情報機器コールセンター



**0570-022066**

市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHS 等をご利用の場合、**048-233-7241**

**カシオ計算機株式会社**

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

TEL 03-5334-4638(代)